平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月７日

上 場 会 社 名　　日本電子材料株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　６８５５　　URL　http://www.jem-net.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)風間　悦男
問合せ先責任者　(役職名)取締役管理部門統括部長　　(氏名)足立　安孝　　(TEL)06(6482)2007

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月12日　　配当支払開始予定日　　平成25年12月４日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	4,618	△ 19.2	37	△ 69.0	66	△ 13.4	16	―
25年３月期第２四半期	5,712	△ 2.5	119	△ 45.2	76	△ 45.2	△ 56	―

(注)　包括利益　26年３月期第２四半期　　281百万円(288.8%)　25年３月期第２四半期　　72百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	1.59	―
25年３月期第２四半期	△ 5.32	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	12,257	9,322	74.9
25年３月期	12,562	9,082	71.1

(参考)自己資本　26年３月期第２四半期　9,182百万円　　25年３月期　8,938百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	5.00	―	4.00	9.00
26年３月期	―	4.00			
26年３月期(予想)			―	4.00	8.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	△ 18.0	100	728.0	120	144.4	30	―	2.83

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―　社（社名）　　、除外　　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	10,604,880株	25年３月期	10,604,880株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	15,284株	25年３月期	15,284株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	10,589,596株	25年３月期２Ｑ	10,589,596株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）経営成績に関する説明 ……P. 2
（２）財政状態に関する説明 ……P. 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 4
３．四半期連結財務諸表 ……P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……P. 11
（継続企業の前提に関する注記） ……P. 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や個人消費の一部に改善が見られた一方で、新興国における経済成長の鈍化等、海外景気の下振れリスクの影響が懸念される状況が続きました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、メモリーＩＣ向けの半導体工場において設備投資が再開された一方で、国内半導体工場の再編や、大手半導体製造装置メーカーの経営統合が発表される等、厳しい事業環境を背景に先行きへの不透明感が増しました。

このような事業環境の中、当社グループは、スマートフォンやタブレット端末向けに需要が拡大している半導体向けを中心にアドバンストプローブカード（Mタイププローブカード、Vタイププローブカード）の拡販を推し進めました。その結果、国内のＮＡＮＤ型フラッシュメモリー向けは、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、海外向けの受注が伸びず、為替レートの円安による追い風も十分に活かすことが出来ませんでした。また、マイコン等、国内のロジックＩＣ向けにも、アドバンストプローブカードの拡販を進めることが出来たものの、半導体市場に対するデジタル家電の販売不振等の影響により、全体として本格的な需要回復は遅れる状況で推移いたしました。以上の結果、売上面につきましては、前年同期を下回る結果となりました。

利益面につきましては、ＶＡ活動による原価低減に加え、経費削減をもってコストダウンを推し進めましたが、売上減少の影響は大きく、営業利益、経常利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高46億１千８百万円（前年同期比19.2%減）、営業利益３千７百万円（前年同期比69.0%減）、経常利益６千６百万円（前年同期比13.4%減）、四半期純利益１千６百万円（前年同期は四半期純損失５千６百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ３億４百万円減少し、122億５千７百万円となりました。

これは主として、現金及び預金が１億３百万円、受取手形及び売掛金が３億５千万円増加しましたが、有価証券が６億３千７百万円、有形固定資産が１億６千９百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ５億４千４百万円減少し、29億３千５百万円となりました。

これは主として、短期借入金が３億５千万円、１年内返済予定の長期借入金が５千８百万円、社債が１億円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ２億３千９百万円増加し、93億２千２百万円となりました。

これは主として、為替換算調整勘定が２億７千１百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、９千７百万円増加し、当第２四半期連結累計期間末には24億６百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、５千９百万円（前年同期比91.2%減少）となりました。

これは主として、売上債権の増加額２億９千万円、たな卸資産の増加額１億３千８百万円、法人税等の支払額２千３百万円等による減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益６千６百万円、減価償却費２億８千９百万円、仕入債務の増加額１億５千９百万円等による増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、４億９千３百万円（前年同期は３千６百万円減少）となりました。

これは主として、有価証券の取得による支出38億５千万円、有形固定資産の取得による支出１億７千万円等による減少要因があったものの、有価証券の売却による収入45億円等による増加要因があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、５億９千１百万円（前年同期比313.3%増）となりました。

これは主として、短期借入れによる収入35億５千万円による増加要因があったものの、短期借入金の返済による支出39億円、長期借入金の返済による支出５千８百万円、社債の償還による支出１億円等による減少要因があったことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月25日に公表した業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565	2,669
受取手形及び売掛金	3,299	3,650
有価証券	1,625	988
製品	57	105
仕掛品	239	301
原材料及び貯蔵品	959	1,030
その他	494	415
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	9,238	9,157
固定資産		
有形固定資産	2,707	2,537
無形固定資産	151	125
投資その他の資産		
その他	469	441
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	464	436
固定資産合計	3,323	3,100
資産合計	12,562	12,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,195	1,382
短期借入金	700	350
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	101	43
その他	612	512
流動負債合計	2,809	2,488
固定負債		
社債	100	－
役員退職慰労引当金	171	118
退職給付引当金	166	177
その他	231	150
固定負債合計	669	446
負債合計	3,479	2,935

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	983	983
資本剰余金	1,202	1,202
利益剰余金	7,311	7,285
自己株式	△15	△15
株主資本合計	9,481	9,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	1
為替換算調整勘定	△546	△274
その他の包括利益累計額合計	△543	△273
少数株主持分	144	139
純資産合計	9,082	9,322
負債純資産合計	12,562	12,257

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	5,712	4,618
売上原価	4,280	3,285
売上総利益	1,431	1,332
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	322	323
役員退職慰労引当金繰入額	6	－
研究開発費	430	386
その他	552	585
販売費及び一般管理費合計	1,312	1,295
営業利益	119	37
営業外収益		
受取利息	5	4
為替差益	－	6
保険解約返戻金	－	13
その他	16	24
営業外収益合計	22	48
営業外費用		
支払利息	10	7
持分法による投資損失	3	－
為替差損	40	－
一時帰休労務費	－	6
その他	10	5
営業外費用合計	65	19
経常利益	76	66
特別利益		
負ののれん発生益	5	－
特別利益合計	5	－
特別損失		
段階取得に係る差損	90	－
特別損失合計	90	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△8	66
法人税、住民税及び事業税	72	31
法人税等調整額	△31	31
法人税等合計	40	62
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△49	3
少数株主利益又は少数株主損失（△）	6	△13
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△56	16

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△49	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△1
為替換算調整勘定	30	280
持分法適用会社に対する持分相当額	88	－
その他の包括利益合計	122	278
四半期包括利益	72	281
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	286
少数株主に係る四半期包括利益	1	△4

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△8	66
減価償却費	323	289
負ののれん発生益	△5	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	58	10
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△43	△57
段階取得に係る差損益（△は益）	90	－
売上債権の増減額（△は増加）	△358	△290
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8	△138
仕入債務の増減額（△は減少）	636	159
その他	24	45
小計	709	84
利息及び配当金の受取額	10	6
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額	△29	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	679	59
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,557	△3,850
有価証券の売却による収入	4,911	4,500
有形固定資産の取得による支出	△241	△170
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	48	－
定期預金の預入による支出	△195	△37
定期預金の払戻による収入	37	60
信託受益権の取得による支出	△439	△197
信託受益権の償還による収入	429	186
その他	△28	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	493

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,000	3,550
短期借入金の返済による支出	△3,900	△3,900
長期借入金の返済による支出	△49	△58
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△52	△42
リース債務の返済による支出	△40	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△591
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	136
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	519	97
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	2,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,523	2,406

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。